

つくばエクスプレスの利便性向上を求める要請・質問書

国土交通省 太田昭宏 殿

2015年6月8日

日本共産党千葉県議団、柏市議団、流山市議団、野田市議団
茨城県議団、守谷市議団、つくば市議団、取手市議団
つくばみらい市議団、常総市議団

日頃より、国民及び沿線自治体住民の安全・安心、安定輸送にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、つくばエクスプレスも開業後10周年を迎える今年、利用者からは、深刻な混雑率の解消に向けた要望が相次いでいます。また、子育て世代を中心に、定期代の負担の重さを嘆く声も聞かれており、せめて「JR並みの割引率にしてほしい」との声が聞かれています。そこで、以下、要請及び質問します。

記

1、現在の6両編成を早期に8両編成にするよう指導してください。また必要な駅舎・車両等の設備計画を明確にするよう指導してください。

- ・混雑率の推移を把握していますか？
- ・8両編成の車両に対応できる駅舎は現時点でどの程度あると把握していますか？
- ・建設費は、当初の6000億円から1兆500億円に引き上げられ、最終9400億円余に推移してきたと認識していますが、そのうち沿線自治体からの出資総額はいくらですか？出資額の根拠は8両編成を前提にしているものと考えますがどうですか？
- ・鉄道経営の免許申請時、何両編成で免許の取得させたのですか？
- ・『つくばエクスプレス工事日誌』によれば、開業12年後に8両化すると明記されていますが、把握していますか？

2、定期代の割引率をせめてJR並みに引き上げ、利用者の負担軽減に取り組むよう指導してください。

- ・開業5年後の2009年は、1日乗降客数目標の27万人を上回り、単年度黒字という目標も15年も前倒しで実現しているはずですが、事実ですか？
- ・通学定期代の負担軽減については、子育て環境の充実に励む沿線自治体の取り組みにも寄与するとともに、定住人口の安定にもつながるという認識はお持ちですか？
- ・現行の通学定期代割引率をせめて1%引き上げた場合、年間収入はどの程度影響するのですか？

3、省庁や1都3県からの役員の下りの現状など経営の透明性を高め、少なくとも天下りの役員への法外な退職金は是正するよう指導してください。

以上

つくばエクスプレスの利便性向上を求める要請・質問書

首都圏新都市鉄道株式会社 代表取締役社長 石井幸男 殿

2015年6月8日

日本共産党千葉県議団、柏市議団、流山市議団、野田市議団
茨城県議団、守谷市議団、つくば市議団、取手市議団
つくばみらい市議団、常総市議団

日頃より、国民及び沿線自治体住民の安全・安心、安定輸送にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、つくばエクスプレスも開業後10周年を迎える今年、利用者からは、深刻な混雑率の解消に向けた要望が相次いでいます。また、子育て世代を中心に、定期代の負担の重さを嘆く声も聞かれており、せめて「JR並みの割引率にしてほしい」との声が聞かれています。

そもそも、①鉄道経営の免許申請・取得時は8両編成としたこと、②「つくばエクスプレス工事誌」によれば、開業後12年後に8両化を明記していること、③鉄道建設に対する沿線自治体からの出資額、また建設費高騰に対する沿線自治体からの出資増額の前提計画は、8両編成であること、④乗降客の安定的確保による早期の借金返済など、貴社が早期に8両化編成に着手すべき根拠があげられます。

また、沿線の自治体及び地域住民は、市税からの出資だけにとどまらず、TXの利用者確保にもつながる区画整理事業への事業費負担、駅舎等への用地提供、他鉄道会社と比較しても高い料金負担など、多大な負担を続けてきました。とりわけJRと比較しても通学・通勤の定期割引率の低さは、高まり続ける混雑率と一体となり、利用者からの不満を増幅させ、TX沿線自治体の定住率の向上にも暗い影を落とすことが懸念されます。

そこで、以下3点、要請します。

記

- 1、現在の6両編成を早期に8両編成にしてください。また必要な駅舎・車両等の設備に着手してください。
- 2、定期代の割引率をせめてJR並みに引き上げ、利用者の負担軽減に取り組んでください。
- 3、省庁や1都3県からの役員の下下りの現状など経営の透明性を高め、少なくとも天下りの役員への法外な退職金は是正してください。

以上